

看護研究における実践的質的研究法

修正版 グラウンデッドセオリー アプローチとは？

M-GTA Modified Grounded Theory Approach

木下康仁氏（立教大学）が開発したM-GTAは、オリジナル版で示された基本特性を継承しつつ、コーディング方法の明確化や独自のインタラクティブ性によりこれまでの課題を克服しており、質的研究の効果的な手法として注目されています。

今回は、M-GTAを用いた研究経験のある都筑先生より、基本的な内容についてお話をさせていただきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

講師

都筑 千景 教授

（大阪府立大学大学院 看護学研究科）

● 日時： **2019年8月30日** **金**
13:30～15:00（受付13:00～）

● 場所：大阪府立大学 羽曳野キャンパス **L401教室**

大阪府羽曳野市はびきの3-7-30

* 駐車場がないため公共交通機関でお越しください

● 対象：本学教員・大学院生，看護職員，その他

参加費 無料
事前申込不要

主催：看護学類 FD委員会 委員長 檜木野裕美

問い合わせ先 (担当)

三輪 恭子 kyokomiwa@nursing.osakafu-u.ac.jp

中嶋有加里 nakajima@nursing.osakafu-u.ac.jp